



第20回

大東学園の

公開研究会

三者協議会

開催日

2024年

11/24日

申込締切日
11/17(日)

より良い学校づくりを目指して



「人間の尊厳を大切にする」×「開かれた学校づくり」
この教育目標を実現するための仕組みの一つが三者協議会です。

受付開始	はじめの会	昼休み	三者協議会	分散会
10:00～	10:30～11:20	11:20～12:00	12:00～15:00	15:00～16:00
2F ロビー	2F 体育館	★昼食体験できます! (注文者のみ)	2F 体育館	分散会 会場
9:00～10:20 各クラスのLHRも公開 「三者協」に向けての話し合いが行われます。		「昼食プロジェクト」 で導入された 昼食です。	中学生・中学生保護者の方は 「三者協議会」からの参加となります。	

※「ロングホームルーム参観」や「昼食体験」を希望する場合は、[申込ページのチェック欄](#) にご記入ください。

お申し込み

QRコードまたは大東学園ホームページからお申込みください。
<https://daitogakuen.ed.jp/forum/>



お問い合わせ

☎ 大東学園高等学校 03-3483-1901
✉ j-sasaki@daitogakuen.net 副校長 佐々木 准



三者(生徒・保護者・教職員)でつくる学校
大東学園高等学校 [全日制 普通科共学]
SINCE 1932

所在地 世田谷区

最寄駅 京王線「八幡山」
小田急線「千歳船橋」



より良い学校づくりを目指して

22年目を迎えた「三者協議会」

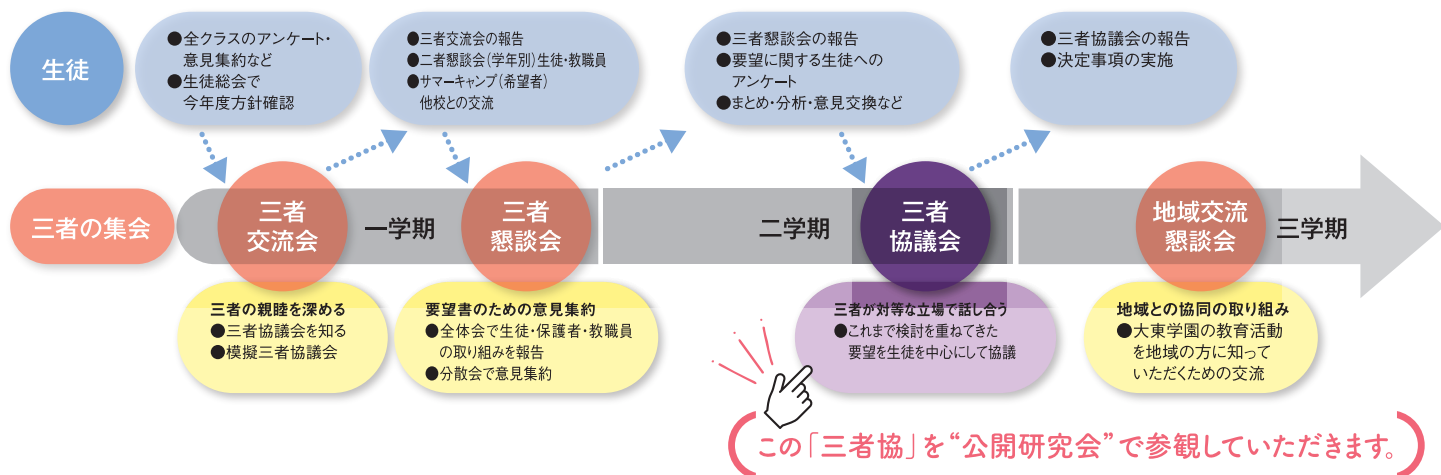
※「三者協議会」＝「三者協」

「三者協議会」では、学校が決めてしまえば済むようなことも三者で協議します。それぞれがアンケートや話し合いなどの事前準備をし、提案をつくり上げます。提案を元に、三者で話し合い、意見をすり合わせるなどの交流を重ね、納得した上で合意することを大切にしながら、運営をおこなっていきます。



「三者協議会」のしくみ [生徒会を軸とした年間スケジュールの一例]

それぞれの立場での話し合いやアンケート、そして「三者交流会」～「三者懇談会」など「学校づくり」についての協議は、年間を通して続いていきます。



「三者協議会」について、よくある質問にお答えします。

そもそも「三者協議会」って何？

「三者協」は、その名の通り、生徒・保護者・教職員の三者で、「協議・協力し、話し合い、合意をして」学校運営をしていく協議会のことです。

いつ頃から始まった取り組みですか？

日本では1997年に、宮下与兵衛先生が長野県の辰野高等学校で開始。「三者協」による校内改革で三者の意識も変わり、大きな成果をもたらしました。

大東学園での取り組みはいつから？

1981年に「二者懇談会」を発足。その後「二者協議会」へと発展し、2003年には「三者協議会」として活動を始めました。



『生徒の声でつくりられてきた“学校空間”』 校長 原 健

大東学園の三者の取り組みは今年で22年目を迎えています。その歴史の中で大東学園の「学園生活の規定」(校則)は三者で協議を重ねながら、時代の変化や必要に応じて、そのつど変更を加えてきました。しかし、そろそろ根本的なアップデートが必要な時期を迎えているようです。また、コロナ禍で中断したままになっていた昼食販売についても、三者による「昼食プロジェクト」の取り組みによって再開される予定です。

今回の三者協議会ではこの二つのテーマを中心に、三者の取り組みの報告や協議が行われる予定です。当日の午前中の時間に行われる各クラスでのホームルーム論議を持ち寄っての協議となるので、中身の予想がつかないところもありますが、出来立てほやほや「生」の三者の協議を見ていただくことができるはずです。ぜひご参加いただいて分散会でみなさんと感想や意見を交流できること楽しみにしています。